

## TOTO

## コンパクト手洗器用アクアオート(湯ぽっとRE01専用)

TEL592型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

## 1.1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

**警告** この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意** この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

**禁止** は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。

**必ず実行** は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

## 警告

ガタついているコンセントは使わない  
火災や感電の原因になります。



電源プラグや機能部に水をかけない  
火災や感電の原因になります。



指定する電源 (AC100V) 以外では使用しない  
火災の原因になります。



電源コードを折り曲げたり、重いものを載せるなど乱暴に扱わない  
火災や感電の原因になります。



電源コードの加工 (切断・継ぎ足し) を行わない  
火災や感電の原因になります。

警告		
<b>禁止</b>	コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。	
<b>接触禁止</b>	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。	
	雷が発生しているときは、電源プラグに触れない 感電の原因になります。	
<b>必ず実行</b>	電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コード引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。	
	電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因になります。	
<b>水場使用禁止</b>	浴室など湿気の多い場所には設置しない 故障や感電の原因になります。	
<b>分解禁止</b>	分解したり、修理・改造は絶対に行わない 火災や感電の原因になります。	

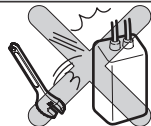


禁止

**注意**

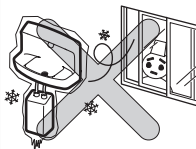
**強い力や衝撃を与えない**

破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



**屋外や凍結が予想される場所に設置しない**

部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



**手洗器に硬い物を落とさない**

手洗器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



**手洗器にぶら下がったり、乗ったりしない**

手洗器が破損し、けがをするおそれがあります。



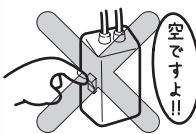
**手洗器に熱湯を注がない**

手洗器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



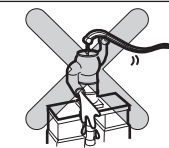
**電気温水器のタンクが空のときは絶対に電源スイッチを入れない**

空焚となり故障・事故の原因になります。



**水道水以外は通水しない**

井戸水などを通水すると、腐食などにより水漏れするおそれがあります。



**フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、必ず止水栓を閉めてから行う**

水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



禁止



必ず実行

**仕様**

給水圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)
使用可能水質	水道水	
使用環境温度	1~40℃	
感知距離	学習方式による感知距離変化型 (セットアップされる陶器により、自動で感知距離を設定します)	
センサーコード長さ	1.3m	
吐水流量	4L/分 定流量弁内蔵	
給水接続	R1/2	
用途	パブリックおよび一般住宅手洗い用	

**部品の確認**

次の部品があることを確認してください。

	壁給水仕様 TEL592AC型	床給水仕様 TEL592BC型	
止水栓部・給水栓部			施工説明書
スパウト部			その他 ワンタッチソケット説明札 必ずお客様にお渡しください 開閉工具

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

# 4

## 取り付け前に

### 1. 給水圧力の確認

- 給水圧力範囲は、0.05~0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。
- 給水圧力が0.75MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2~0.3MPaに減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。

### 2. 給・排水取出し位置について

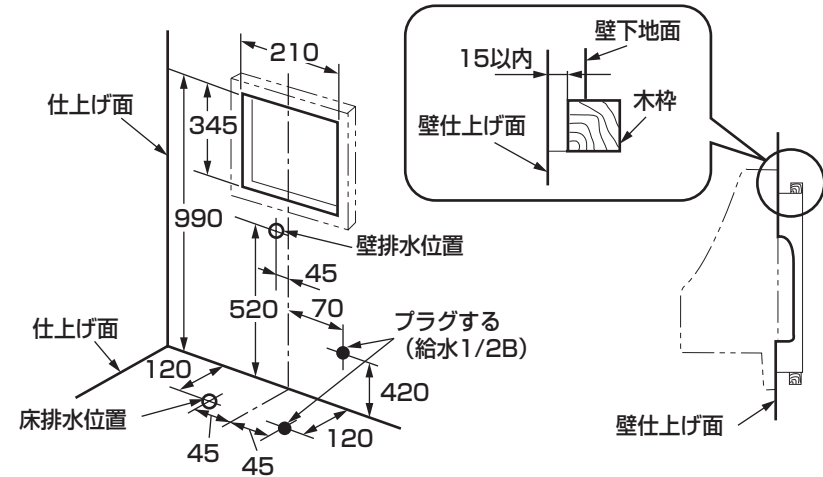
- 木枠は陶器でかくせませんので、必ず木枠の面にも壁仕上げを行ってください。(L570の場合)
- 陶器の品番により取付寸法が異なります。詳細は、右図を参考のうえ、取り付けてください。
- 給・排水位置についての寸法公差は、寸法表示の±10です。寸法表示の±10以内でないとおプション品のトラップカバーが取り付けられないおそれがあります。
- 給・排水位置についてはすべてのバリエーションに対応可能になっていますので、製品品番を確認してください。  
(例) 床給水・壁排水の時は床給・排水の壁排水位置にセットしてください。
- トラップカバーを取り付ける際、床に給水・排水がある場合はフランジを必ず取り外してください。

### 3. その他

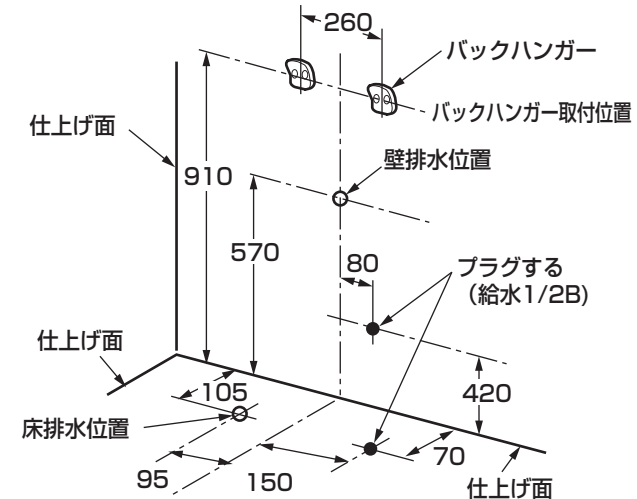
- この商品は「湯ぽっとRE01シリーズ」専用品です。
- アクアオートは屋内用ですので、屋外では使用しないでください。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

### ● L570の場合

(単位：mm)



### ● L870の場合



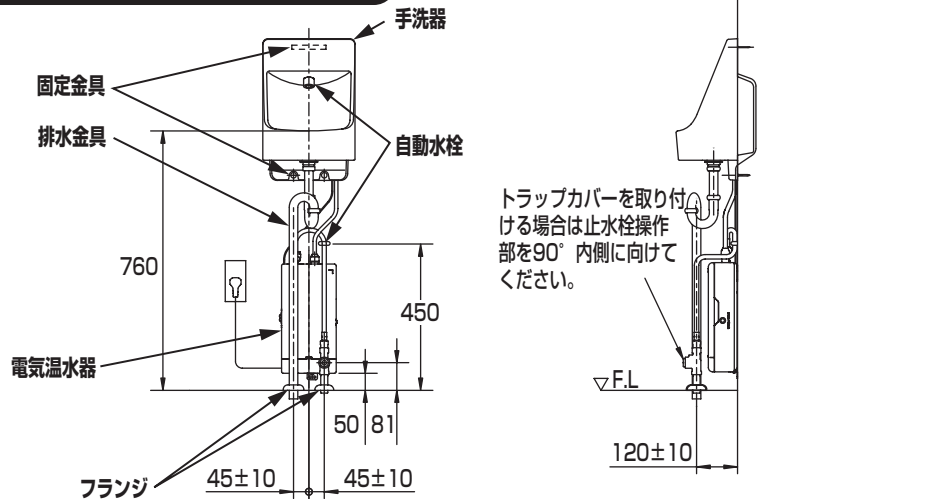
※電気温水器の左側は150mm程度のスペースを確保してください。

# 5 完成図

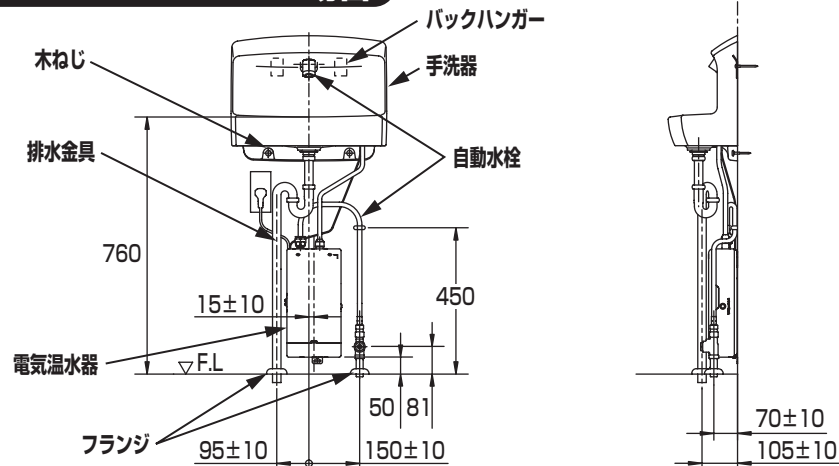
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

## LSE570RNBSの場合

(単位：mm)



## LSE870RNBSの場合



※トラップカバーを取り付ける際、床に給水・排水がある場合はフランジを必ず取り外してください。

# 6-1 施工手順

- 11 センサー内ランプの確認
- 2 吐水口部の取り付け
- 1 給水管内の清掃
- 3 手洗器の取り付け
- 9 センサーコネクターの接続
- 5 排水金具の取り付け
- 4 止水栓の取り付け
- 6 給水ホースの接続
- 7 給水ホースの固定 (床給水仕様の場合)
- 8 スパウト連結ホースの切断および接続
- 10 電源プラグの差し込み

### 注意

- インバーターや赤外線を用いた他の機器により、誤作動することがあります。
- 施工手順どおりに行ってください。施工手順が違くと、施工がしにくい場合があります。

## 1 給水管内の清掃

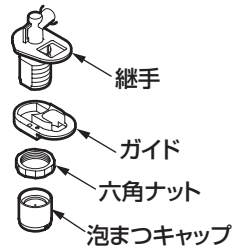
取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

重要

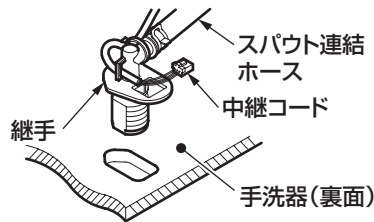
裏面へつづく

## 2 吐水口部の取り付け

- ① 泡まつキャップ・六角ナット・ガイドを継手より一度外す。



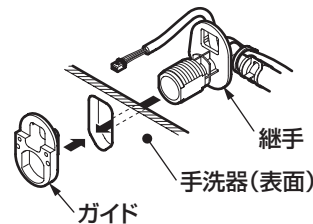
- ② 継手を手洗器裏面より挿入する。



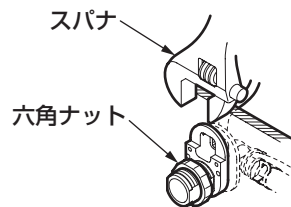
**注意**

継手の方向性に注意してください。

- ③ 手洗器表面にガイドを右図の向きにセットして取付穴からの継手に挿入する。



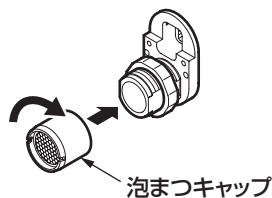
- ④ 六角ナットを継手にねじ込み、ガイドを固定する。



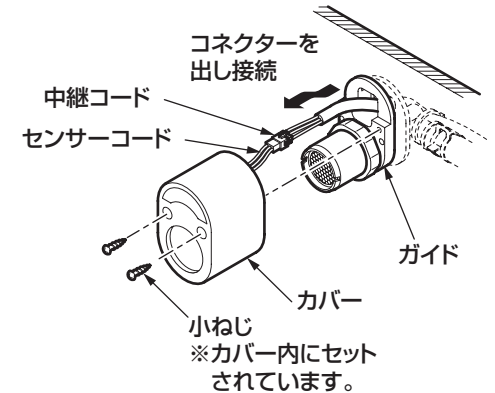
**注意**

六角ナットの締め付けはスパナなどで確実に行ってください。

- ⑤ 泡まつキャップを取り付ける。



- ⑥ 手洗器裏面より中継コードを取り出しセンサーコードのコンネクターに接続し、手洗器裏面に収める。

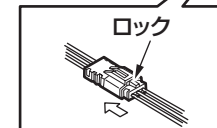
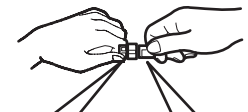


- ⑦ カバーの凸部をガイドの凹部にあわせ、小ねじで固定する。

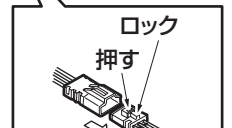
**注意**

コンネクターの接続はロックが確実にかかるまで差し込んでください。また、抜き差し時に防水用リングを傷つけないでください。

● コンネクターの抜き差し要領



コンネクターの接続は、ロックがかかるまで確実に差し込んでください。



コンネクターを外すときはロックを押し下げて引き抜きます。

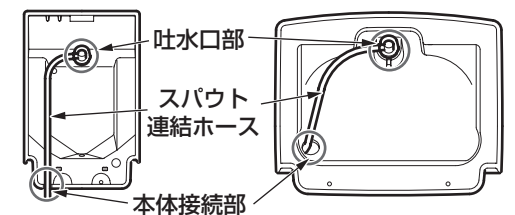
- ⑧ スパウト連結ホースを手洗器へ取り付ける。

**注意**

- スパウト連結ホースは変形やねじれないよう取り扱いに注意してください。
- スパウト連結ホースの防露対策は必要に応じて現場にて行ってください。
- スパウト連結ホースの取り出し位置、取りまわしには注意してください。

● L570の場合

● L870の場合

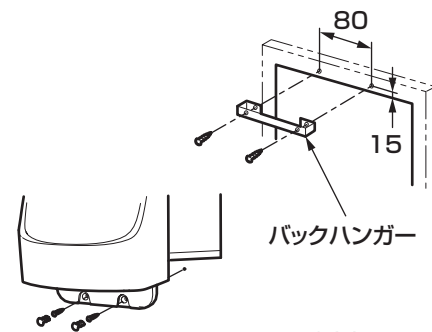




### 3 手洗器の取り付け

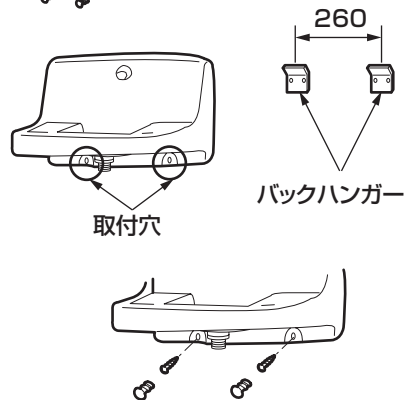
#### ● L570の場合

- ①バックハンガーを所定の位置に取り付ける。
- ②手洗器をバックハンガーに引っかけて仮据えし、上部を押さえ手洗器が水平であることを確認する。
- ③下部の取付穴の位置をけがき下穴をあけ、木ねじで固定する。(2カ所)



#### ● L870の場合

- ①バックハンガーを所定の位置に取り付ける。
- ②手洗器を仮付けして、取付穴の位置をけがき、下穴をあける。(2カ所)
- ③再度、手洗器を取り付けて木ねじで固定する。

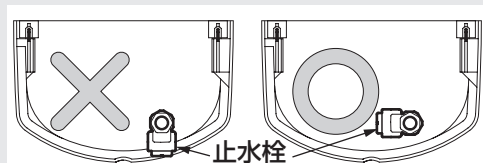


### 4 止水栓の取り付け

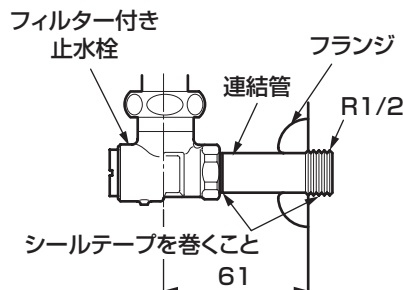
フランジ、連結管、フィルター付き止水栓を取り付ける。

#### 注意

手洗器L570(床給水仕様)にトラップカバーを取り付ける場合、止水栓を90°傾けた位置に取り付けてください。トラップカバーが取り付けられない可能性があります。



#### 〈壁給水の場合〉



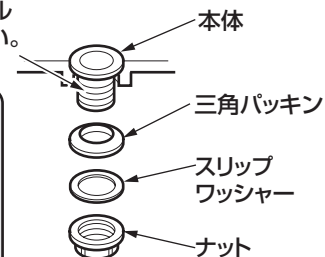
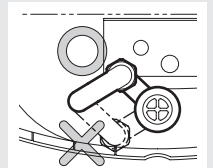
### 5 排水金具の取り付け

排水金具を取り付ける。

つば裏にメジシールを塗布してください。

#### 注意

手洗器L870(床給水仕様)にトラップカバーを取り付ける場合、排水金具の六角の締め付け箇所は奥側で締め付けてください。トラップカバーが取り付けられない可能性があります。



以後の作業は電気温水器(湯ぽっとRE01)の施工説明書とあわせてご覧ください。

### 6 給水ホースの接続

- ①電気温水器の給水口に異物の付着がないことを確認し、給水ホースのワンタッチソケットを真っすぐ奥まで(「カチッ」と音がするまで)確実に差し込む。確実に差し込まれていない場合、水漏れの原因となります。この際、同梱の「ワンタッチソケット」の説明札を必ずワンタッチソケットにつり下げてください。

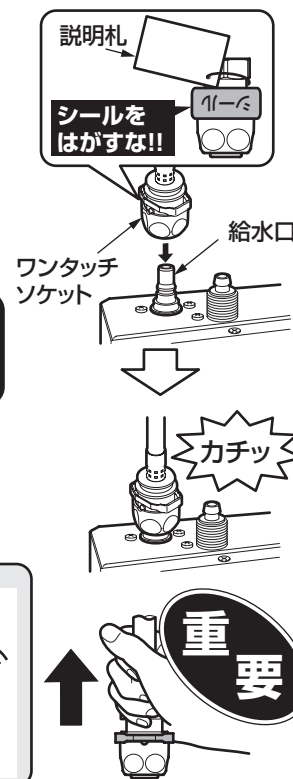
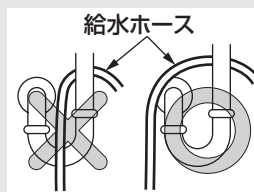
#### 注意

ワンタッチソケットに貼られたシールをはがさないで取り付けください。そのままでもホースを差し込めます。

- ②給水ホースを真っすぐ引っ張って外れない(抜けない)ことを必ず確認する。
- ③ワンタッチソケットの反対側は止水栓に接続する。

#### 注意

- 差し込み後、給水ホースが抜けないことを確認してください。
- 壁排水の場合は、必ず排水金具の左側を回して取り付けてください。給水ホースが折れる可能性があります。



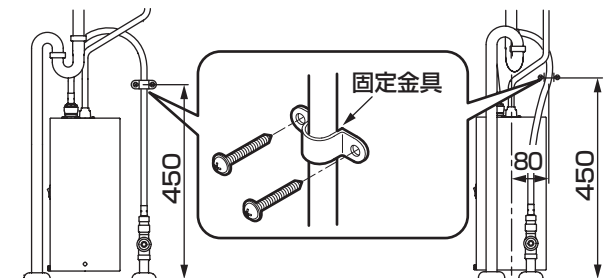
施工後、万一給水ホースを外した場合は、「ワンタッチソケット」の説明札を確認のうえ、必ずワンタッチソケットと給水ホース内の残水を抜いてから給水ホースを差し込んでください。

## 7 給水ホースの固定 (床給水仕様の場合)

給水ホースを固定金具で固定する。

### 注意

固定金具は決められた位置に必ず取り付けてください。給水ホースが折れたり、トラップカバーが取り付けられない可能性があります。



〈L870の場合〉

横方向は止水栓上床から450mmの位置に取り付ける。

〈L570の場合〉

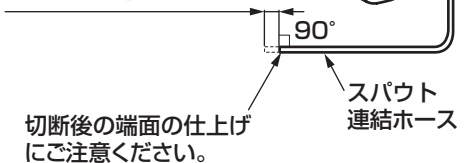
センターより80mm、床から450mmの位置に取り付ける。

## 8 スパウト連結ホースの切断および接続

①スパウト連結ホースを電気温水器の接続口に合うように適切な長さに切断する。

※カッターなどを用い、**切断面が垂直になるよう行ってください。**

機能部の接続口に合うように切断します。



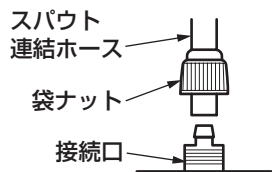
切断後の端面の仕上げにご注意ください。

②スパウト連結ホースを接続口に差し込む。

③袋ナットを**手で締め付ける。**

### 注意

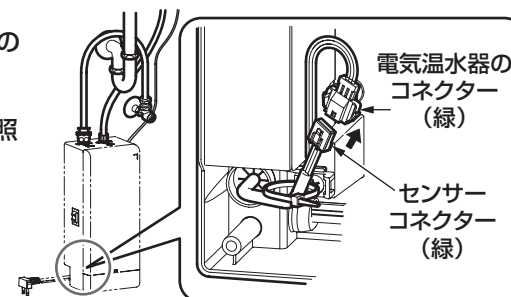
- スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認してください。
- スパウト連結ホースが折れ曲がることのないように注意してください。
- 給水ホースの手前にスパウト連結ホースが来るように注意してください。



## 9 センサーコネクターの接続

センサーコネクター(緑)を電気温水器内のコネクター(緑)に接続する。

※詳しくは電気温水器の施工説明書を参照してください。

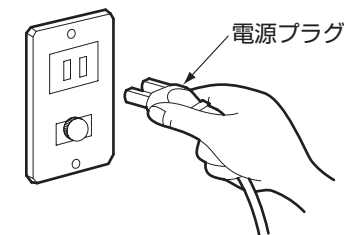


## 10 電源プラグの差し込み

電気温水器の電源プラグをコンセントに差し込む。

### 注意

- この時電気温水器のスイッチを絶対に入れないでください。
- 電源が入ると直ちに感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、手洗器内に物を置いたりしないでください。(約20秒間でこの動作は完了します。)



## 11 センサー内ランプの確認

センサー内に手をかざしたり、手洗器内に物を置いたりしない状態で、スパウトのセンサー内ランプが**点滅していない**ことを確認する。

### 注意

電源を入れて約10分後にランプの点滅は自動的に消えます。再度確認を行う場合は、センサーコネクターを一度抜き、差し込み直してください。



# 7

## 試運転および調節

### 1. 試運転

取り付けが完了したあと、次の方法で試運転を行ってください。

#### ① 水漏れの確認

止水栓を開き、連結管やスパウト連結ホースの接続部から水漏れがないか確認してください。

#### ② 水を出す・止める

- 吐水口に手を近づけると水が出ます。  
(ただし、初回は電気温水器が満水になるまで、約20秒かかります)
- 手を離すと約1～2秒後に水が止まります。
- 手を約1分間連続して感知すると自動的に止まります。  
(センサー感知は学習方式のため、手を動かさないでいると約15秒で水が止まります)
- センサー前面から約4cmの位置に開閉工具など反射しやすい物を感知させると、最大1分間水を出すことができます。

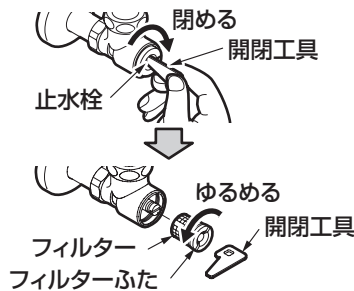
※正常に動作しない場合は、**各コネクターが確実に接続されている**か確認してください。

### 2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

※フィルターを掃除する際は、付属の開閉工具で**止水栓を閉めたあと、フィルターふたを外してください。**

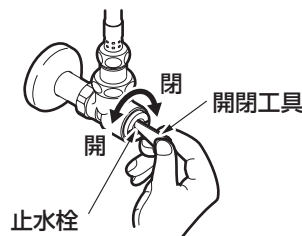


### 3. 流量の調節

止水栓内部に、定流量弁(4L/分)を内蔵していますので、流量の調節は不要です。

**止水栓は全開**でご利用ください。

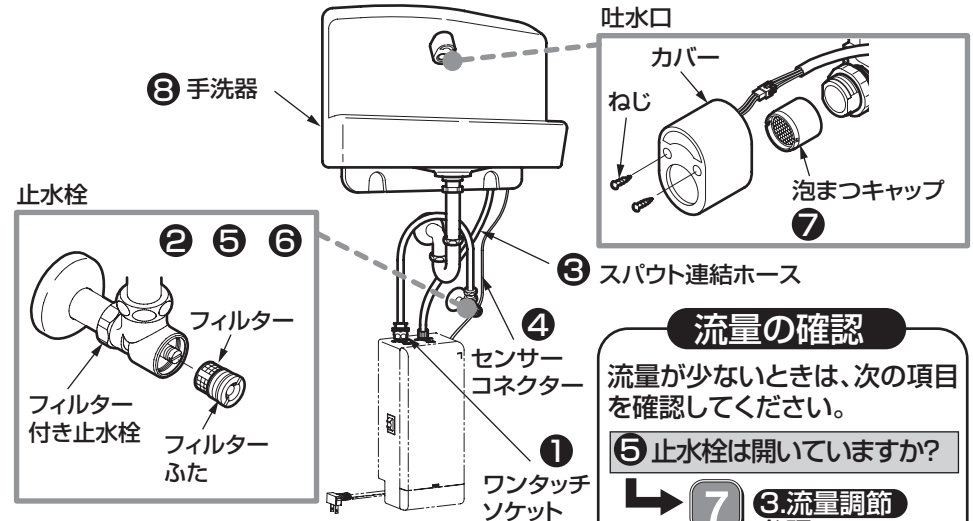
ただし、水の勢いが強すぎて衣服などをぬらすおそれがある場合は、付属の開閉工具でフィルター付き止水栓を回して、流量を調節してください。



# 8

## 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



### 水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

- ① 給水口ホースのワンタッチソケットは給水口にしっかり差し込まれていますか?  
↳ 6.3 - ⑥「給水ホースの接続」参照
- ② 止水栓部の水漏れはないですか?  
↳ 6.3 - ④「止水栓の取り付け」参照
- ③ スパウト連結ホースはしっかり接続されていますか?  
↳ 6.4 - ⑧「スパウト連結ホースの切断および接続」参照

### コネクターの確認

コネクターがしっかり差し込まれているか確認してください。

- ④ コネクターはしっかり差し込まれていますか?  
↳ 6.4 - ⑨「センサーコネクターの接続」参照

### 流量の確認

流量が少ないときは、次の項目を確認してください。

- ⑤ 止水栓は開いていますか?  
↳ ⑦ ③「流量調節」参照
- ⑥ フィルターのごみ詰まりはないですか?  
↳ ⑦ ②「フィルターの掃除」参照
- ⑦ 泡まつキャップのごみ詰まりはないですか?  
↳ 泡まつキャップの掃除をする。

### ガッツキの確認

ガッツキがないか確認してください。

- ⑧ 手洗器のガッツキはないですか?  
↳ 6.3 - ③「手洗器の取り付け」参照

※同梱の開閉工具は、必ずお客様にお渡しください。